



配慮を必要とする方に対しての理解と対応

～障害のある方等に対するサポートの視点と手法を身に付ける～

ねらい

周囲からのサポートを必要とされる方々の立場に立って支援する視点、基礎的な知識を獲得し、接し方のマナーや対応スキルを身に付けます。

特徴

要配慮者や要配慮者を支援する方からの講義や実際の接遇体験を通じて、コミュニケーションの取り方や支援の方法を習得することができ、研修後の実践力に直結します。

形式

本研修は下記の会場で、講師による講義や演習、要配慮者及び要配慮者を支援する方からのお話や実習を中心に実施します。

■日程【1日間】

9月 3日(金)

※会場は、「新潟ふれ愛プラザ」(新潟市江南区亀田向陽1-9-1)を予定しています。

■予定人数

20名

■対象

障害者に対する接し方について基本的な知識・理解を学びたい方

■講師

新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授 高橋 英樹 氏 ほか

プログラム(予定)

9:00	12:00	13:00	17:00
<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 接遇の基本 2. 障害者差別解消法を理解する 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 			<ol style="list-style-type: none"> 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 4. まとめ

カリキュラム(予定)		
時間	内容	
1 日 目	9:00	<u>はじめに</u>
		<u>1. 接遇の基本</u>
		<u>2. 障害者差別解消法を理解する</u>
		<u>3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法</u>
	12:00	(1) 肢体不自由者の理解と接遇
13:00	(2) 視覚障害者の理解と接遇	
	(3) 聴覚障害者の理解と接遇	
	(4) 精神障害者の理解と接遇	
17:00	<u>4. まとめ</u>	

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

受講者の声(令和2年度)

- ▶実際に障害を抱えている講師の方々のお話を聞くことができ、また、手話や車椅子などの実体験もできて、有益な時間だった。配慮を必要とする方々が、少しでも社会参画を進められるよう、できることを考えていきたい。
- ▶受講し、多くの新しい知識を得ることができた。過去の対応を振り返り、今後の対応に活かしていきたいと感じた。
- ▶相手方が必要としていることは、個人の状況によって様々。先入観や偏見に促されるのではなく、目の前の方に誠実に対応していくことが大切だと思った。